

▼デファイテリオ静注 [注]

【重要度】 【一般製剤名】デフィブロチド ナトリウム Defibrotide Sodium 【分類】肝類洞閉塞症候群治療剤

【単位】▼200mg/V [2.5mL]

【常用量】1回6.25mg/kgを1日4回

■21日間以上を目安として肝類洞閉塞症候群の徴候及び症状が回復するまで継続するが、肝類洞閉塞症候群の徴候及び症状並びに本剤投与によるリスクを考慮して継続の可否を慎重に判断

【用法】2時間かけて静脈内投与 [原則6時間ごとに一定の速度で静脈内投与]

■5%ブドウ糖または生食で4～20倍希釈

【透析患者への投与方法】血中濃度が上昇するおそれ (1)

【保存期CKD患者への投与方法】血中濃度が上昇するおそれ (1)

【特徴】ブタ腸粘膜由来のポリデオキシリボヌクレオチドナトリウムで、作用機序は明確でないものの凝固・線溶系の各種因子に影響することで血管内皮細胞の保護に働くと推察されている。造血幹細胞移植 (HSCT) 後の多臓器不全を伴う重症の肝類洞閉塞症候群 (sinusoidal obstruction syndrome : SOS) の治療剤で、重症又は重症化するおそれのあるSOSに適用。

【主な副作用・毒性】ショック・アナフィラキシー、出血、結膜出血、発疹、消化器症状、

【安全性に関する情報】

【F】

【tmax】

【代謝】エキソヌクレアーゼにより加水分解される (1)

【排泄】尿中未変化体排泄率9.48% [iv, 24hr まで] (1) 尿中に72%回収 (1)

【CL】9.269L/hr (1)

【t1/2】0.5～1.1hr (1) 反復投与しても血中濃度は蓄積しない (1) 0.47hr (Umemura K, et al: Clin Pharmacol Drug Dev 2016 PMID: 27870480)

【蛋白結合率】91.3%以上 (1)

【Vd】7.31 L/man (1)

【MW】13,000～20,000

【透析性】除去されない (1)

【O/W係数】

【相互作用】出血の危険性が增大するおそれがあるため、血栓溶解剤投与中の患者は禁忌 (1)

【肝障害患者への投与方法】

【小児CKD患者における報告】

【妊婦・授乳婦への投薬】

【主な臨床報告】

【更新日】20250409

※正確な情報を掲載するように努力していますが、その正確性、完全性、適切性についていかなる責任も負わず、いかなる保証もいたしません。本サイトは自己の責任で閲覧・利用することとし、それらを利用した結果、直接または間接的に生じた一切の問題について、当院でいかなる責任も負わないものとします。最新の情報については各薬剤の添付文書やインタビューフォーム等でご確認ください。

※本サイトに掲載の記事・写真などの無断転載・配信を禁じます。すべての内容は、日本国著作権法並びに国際条約により保護されています。